

概要

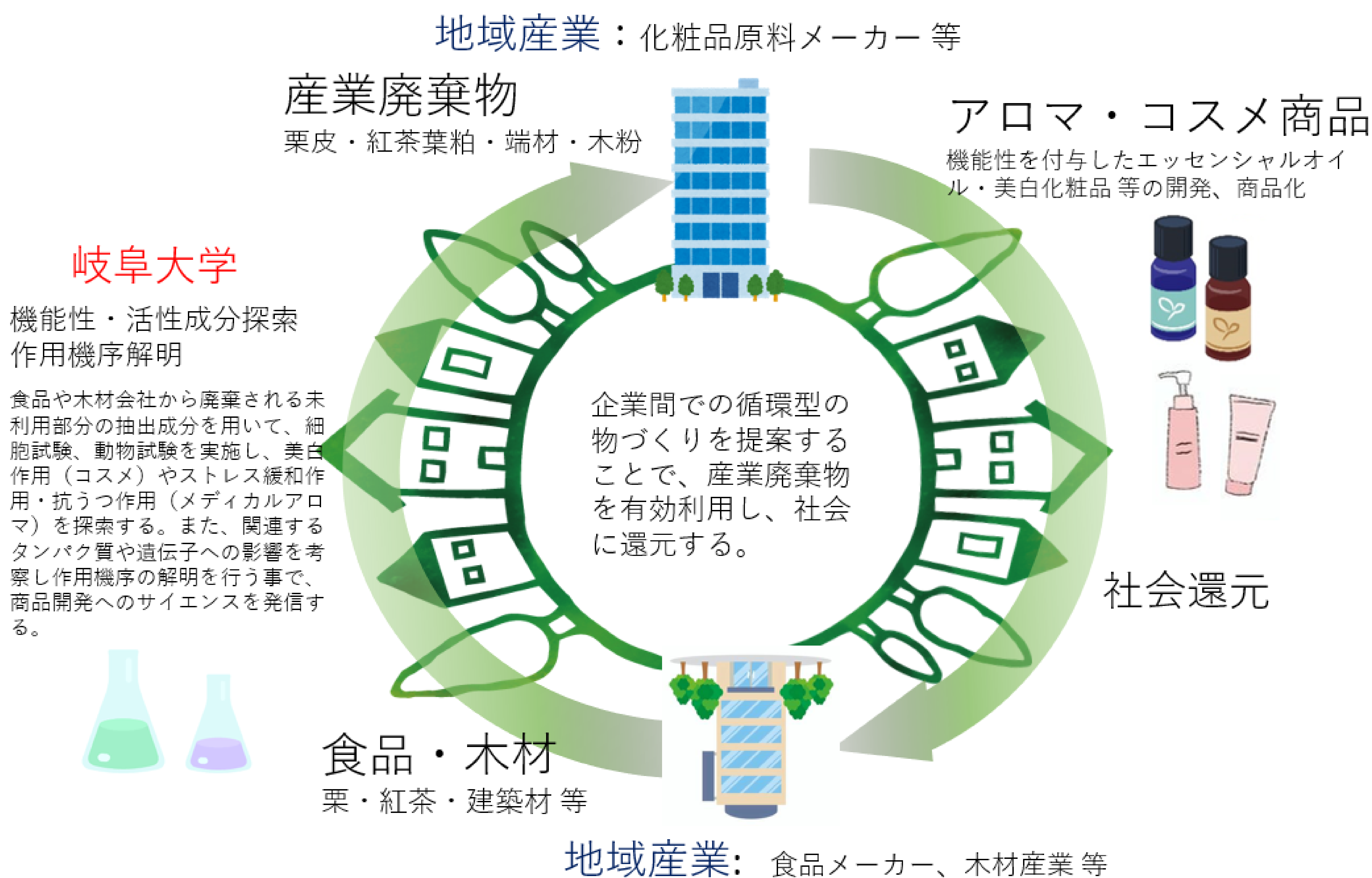
食品や木材業界で未利用部分が大量に廃棄されています。これらの資源から生物活性を有する化合物の構造解析及び作用機序の調査を行います。

廃棄物に新たな価値を付与することで大学が仲介した、企業間での循環型の新しいビジネスモデルを提案することができると考えます。

研究内容

(1) 食品廃棄物や木材から新たな価値を見出す

栗皮(岐阜県200トン/年)や林地残材(国内1000万トン/年)など食品や木材業界で未利用部分が大量に廃棄されています。これまでに、加工過程における食品の廃棄物等から有用成分の抽出、単離同定、活性試験を行う事で、生活習慣病の予防や、記憶障害の改善など、健康効果をもつ化合物を発見してきました。



活用分野・用途・応用例

天然成分の動物、細胞レベルでの生物活性、及び各種機器分析を用いた活性成分の構造解析を行って来た技術とノウハウがあり、企業と長年の共同研究の経験があります。これまで培ってきた技術を用いて産業廃棄物からの化粧品、アロマ原料、機能性食品への商品化を目指します。